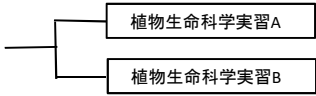
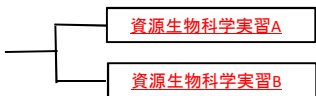


変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
1 【8ページ】 龍谷大学の教育にかかる基本方針	文言の変更	<p><b>龍谷大学の教育にかかる基本方針</b></p> <p>建学の精神に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生(ともいき)の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成する。</p>	<p><b>龍谷大学の教育理念・目的</b></p> <p><u>建学の精神に基づき、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成する。</u></p> <p><u>龍谷大学の教育理念・目的を実現するため設置された学部・研究科は、広く社会に貢献できる教養教育と専門教育を体系的かつ組織的に行うに当たり、各学問分野の独自性を活かしつつ、社会の要請等を踏まえた教育理念・目的を掲げ、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針を一体的に策定する。</u></p>	2017年3月
2 【12ページ】 掲示板管理部署	掲示板設置場所の変更	<p>瀬田教育学部 3号館1階 グローバル教育推進センター(瀬田) 未定</p> <p>※グローバル教育推進センター(瀬田)は、2015年9月に瀬田学舎に設置される予定です。 掲示板の設置場所等は同センター設置後、ポータルサイト等で案内いたします。 それまでに国際交流に関する相談があれば、深草学舎のグローバル教育推進センター(075-645-7898)に連絡してください。</p>	<p>瀬田教育学部 ..... <b>1号館1階</b> グローバル教育推進センター(瀬田)..... <b>碧光館1階</b></p> <p>※印→削除</p>	2017年3月
3 【13ページ】 休講・補講・教室変更情報について (3)公開の期間	文言の変更	<p>&lt;パソコン用&gt; 休講:休講日を含めて30日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。 &lt;携帯電話用&gt; 休講:休講日を含めて3日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。</p>	<p>&lt;パソコン用&gt; 休講:<u>連絡が入り次第</u>、休講日を含めて30日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。 &lt;携帯電話用&gt; 休講:<u>連絡が入り次第</u>、休講日を含めて<b>2</b>日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて<b>2</b>日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後<b>28</b>日分を表示しています。</p>	2017年3月
4 【21ページ】 2. 授業科目の開講方法	文言の変更	<p>集中講義を利用して開講される科目については、下記の取り扱いとなります。</p> <p>集中講義 第2学期(後期科目) 開講期間:8月27日(木)～9月9日(木) 前期開講科目の履修登録と同時に登録が必要です。</p> <p>(注)集中講義の開講期間・開講場所などについては、別途掲示する場合がありますので注意してください。</p>	<p><u>サマーセッション</u>を利用して開講される科目については、下記の取り扱いとなります。</p> <p><u>サマーセッション 第2学期(後期科目) 開講期間・開講場所については、履修説明会・掲示板・ポータルサイト(学内者向け)等で確認してください。</u></p> <p><u>(注)履修登録できる科目数は2科目までとなります。</u> <u>授業日程が他の科目と重複する場合は、1科目しか履修登録できないので、各科目の開講日程に注意してください。</u></p>	2017年3月
5 【23ページ】 2. 履修登録制限単位数	履修登録制限単位数外の科目の追加	<p>②集中講義に開講される科目</p> <p>⑥農学部専攻科目(全学科)のうち、以下の科目 「農学部インターンシップA」、「農学部インターンシップB」、「海外農業体験実習」、「特別研究」</p> <p>⑦農学部食品栄養学科専攻科目のうち、管理栄養士免許取得に関する以下の科目 「公衆栄養学Ⅱ」、「分子栄養学」、「臨床医学概論」、「臨床病態学」、「栄養評価論」、「栄養カウンセリング論」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅲ」、「臨床栄養管理学」、「公衆栄養活動論」、「給食経営管理論Ⅱ」</p>	<p>②<u>サマーセッション</u>に開講される科目</p> <p>⑥農学部専攻科目(全学科)のうち、以下の科目 「農学部インターンシップA」、「農学部インターンシップB」、「海外農業体験実習」、「特別研究」</p> <p>⑦農学部食品栄養学科専攻科目のうち、<u>管理栄養士国家試験受験資格、食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格取得</u>に関する以下の科目 「公衆栄養学Ⅱ」、「分子栄養学」、「臨床医学概論」、「臨床病態学」、「栄養評価論」、「栄養カウンセリング論」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅲ」、「臨床栄養管理学」、「公衆栄養活動論」、「給食経営管理論Ⅱ」、「<u>栄養疫学</u>」「<u>食品機能論</u>」「<u>食品加工学</u>」、「<u>スポーツ栄養学</u>」、「<u>有機化学</u>」</p> <p>⑧<u>その他</u> 「<u>海外英語研修</u>」</p>	2017年3月

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月																														
6 【25ページ】 (3)履修辞退できない科目	履修辞退できない科目の追加	【集中講義科目】  【その他、農学部が設定する科目】  入門ゼミや実験・実習科目等は、クラスや班分けを行うため履修辞退をすると授業の運営に影響するため、履修辞退を認めません。また、インターンシップ科目等は受入先との事前調整を行うため、履修辞退を認めません。 「入門ゼミ」、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「農学部インターンシップA」「農学部インターンシップB」「海外農業体験実習」 その他、実験実習科目	【 <b>サマーセッション</b> 科目】  【その他、農学部が設定する科目】  入門ゼミや実験・実習科目・ <b>スポーツ技術学</b> 等は、クラスや班分けを行うため履修辞退をすると授業の運営に影響するため、履修辞退を認めません。また、インターンシップ科目等は受入先との事前調整を行うため、履修辞退を認めません。 「入門ゼミ」、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「農学部インターンシップA」「農学部インターンシップB」「海外農業体験実習」「スポーツ技術学」 その他、実験実習科目	2015年4月																														
7 【30ページ】 1)追試験の受験資格	受験資格 文言の修正	1)追試験の受験資格 ①病気や怪我、試験時における体調不良等による受験が出来なかった者。 ②親族(原則として3親等まで)の葬儀により受験ができなかった者。 ③後任サークルの公式戦に選手として参加することにより受験ができなかった者。 ④資格試験(公務員試験、公的資格試験等)や就職活動(説明会、筆記試験、面接等)により受験ができなかった者。 ⑤単位互換科目(大学コンソーシアム京都科目、放送大学科目、環びわ湖大学・地域コンソーシアム科目)の試験により受験ができなかった者。 ⑥インターンシップ実習(協定型インターンシップ、大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラム、農学部インターンシップA・B)により受験ができなかった者。 ⑦交通機関の遅延等により受験ができなかった者。 ⑧交通事故や災害等により受験ができなかった者。 ⑨裁判員制度による裁判員(候補者)に選任されたことにより受験ができなかった者。 ⑩その他、学部教授会が特に必要と認めた者。	<b>追試験は次の各号のいずれかの理由により定期試験を欠席し、所属学部が認めると受験することができます。</b> <b>① 病気や怪我、試験時における体調不良等</b> <b>② 親族(原則として3親等までの葬儀への参列)</b> <b>③ 公認サークルの公式戦への選手としての参加</b> <b>④ 交通機関の遅延等</b> <b>⑤ 交通事故、災害等</b> <b>⑥ 就職活動(説明会、筆記試験、面接等)</b> <b>⑦ 資格試験(公務員試験、公的資格試験等)の受験</b> <b>⑧ 単位互換科目の試験受験</b> <b>⑨ インターンシップ実習(協定型インターンシップ、大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラムなど)又は博物館実習への参加</b> <b>⑩ 裁判員(候補者)への選任</b> <b>⑪ その他所属学部が特に必要と認める理由</b>	2017年3月																														
【32ページ】 2. 必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目	文言修正	「必修科目」とは、卒業要件を満たすために必ず履修しなければならない科目です。	「必修科目」とは、卒業要件を満たすために <b>必ず単位修得</b> しなければならない科目です。	2016年3月																														
9 【36ページ】 6. 英語科目以外の外国語科目の概要	文言修正	<table border="1"> <thead> <tr> <th>授業科目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語「I A」及び「I B」</td> <td>「未知なることば」への入門</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語「セミナーA」及び「セミナーB」</td> <td>異文化へのアプローチ</td> </tr> </tbody> </table>	授業科目	概要	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語「I A」及び「I B」	「未知なることば」への入門	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語「セミナーA」及び「セミナーB」	異文化へのアプローチ	<p><b>選択外国語科目には、新しい言語にチャレンジするための入門科目と発展科目であるセミナー科目が解説されています。より高度な運用能力(読む・書く・聴く・話す)の向上を図るとともに、そのことばが用いられている国・地域の文化的、社会的事情についての理解を深めることをめざします。</b> <b>(1)開講科目</b> <b>開講科目は下記のとおりです。</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配当年次</th> <th colspan="2">1年次</th> <th colspan="2">2年次</th> </tr> <tr> <th>1セメ</th> <th>2セメ</th> <th>3セメ</th> <th>4セメ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開講セメスター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>初修外国語</td> <td>ドイツ語I A フランス語I A</td> <td>ドイツ語I B フランス語I B</td> <td>ドイツ語セミナーA フランス語セミナーA</td> <td>ドイツ語セミナーB フランス語セミナーB</td> </tr> <tr> <td>初修外国語 セミナー</td> <td>中国語I A ロシア語I A</td> <td>中国語I B ロシア語I B</td> <td>中国語セミナーA ロシア語セミナーA</td> <td>中国語セミナーB ロシア語セミナーB</td> </tr> </tbody> </table>	配当年次	1年次		2年次		1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	開講セメスター					初修外国語	ドイツ語I A フランス語I A	ドイツ語I B フランス語I B	ドイツ語セミナーA フランス語セミナーA	ドイツ語セミナーB フランス語セミナーB	初修外国語 セミナー	中国語I A ロシア語I A	中国語I B ロシア語I B	中国語セミナーA ロシア語セミナーA	中国語セミナーB ロシア語セミナーB	2016年3月
授業科目	概要																																	
ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語「I A」及び「I B」	「未知なることば」への入門																																	
ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語「セミナーA」及び「セミナーB」	異文化へのアプローチ																																	
配当年次	1年次		2年次																															
	1セメ	2セメ	3セメ	4セメ																														
開講セメスター																																		
初修外国語	ドイツ語I A フランス語I A	ドイツ語I B フランス語I B	ドイツ語セミナーA フランス語セミナーA	ドイツ語セミナーB フランス語セミナーB																														
初修外国語 セミナー	中国語I A ロシア語I A	中国語I B ロシア語I B	中国語セミナーA ロシア語セミナーA	中国語セミナーB ロシア語セミナーB																														
10 【37ページ】 7. 教養教育科目 開設科目	科目の新設に伴う一覧表の修正		<p>2016年度から新設 ■総合科目 <b>「海外英語研修」(2単位)第2セメスター配当 ※1年次生、2年次生のみ履修可。</b></p> <p>※別紙「教養教育開設科目」参照</p>	2016年3月																														

# 2015年度(平成27)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については、<https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/#pdf> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
11 【39ページ】 2. 履修必修科目について	文言修正	履修必修科目とは、専攻科目を学習するうえで基本となる科目の中から、特に履修するよう指導している科目です。	履修必修科目とは、専攻科目を学習するうえで基本となる科目の中から、 <b>必ず</b> 履修するよう指導している科目です。	2016年3月
12 【44・50・56・62ページ】 専攻科目 開設科目(全学科)	担当セメスターの変更	「キャリア形成論」 3年次前期	「キャリア形成論」 3年次 <b>後期</b>	2017年3月
13 【55ページ】 (2)専攻科目 開設科目 (食品栄養学科)	担当セメスターの変更	「食と嗜好の科学」 1年次 後期 担当	「食と嗜好の科学」 1年次 <b>前期</b> 担当 ※別紙「専攻科目開設科目(食品栄養学科)」参照	2016年3月
14 【56ページ】 (2)専攻科目 開設科目 (食品栄養学科)	担当セメスターの変更	「生化学」 1年次 後期 担当	「生化学」 1年次 <b>前期</b> 担当 ※別紙「専攻科目開設科目(食品栄養学科)」参照	2016年3月
15 【57ページ】 (2)専攻科目 開設科目 (食品栄養学科)	担当セメスターの変更	「臨床栄養管理学」 3年次 前期 担当	「臨床栄養管理学」 <b>2年次 後期</b> 担当 ※別紙「専攻科目開設科目(食品栄養学科)」参照	2015年9月
16 【58-59ページ】 カリキュラムフローチャート (食品栄養学科)	フローチャートの変更	/		※別紙「カリキュラムフローチャート(食品栄養学科)」参照 2016年3月
17 【53ページ】 (3)カリキュラムフローチャート(資源生物科学科)	科目名称の修正	<b>【研究手法を学ぶ実習科目】</b> 	<b>【研究手法を学ぶ実習科目】</b> 	2016年3月

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
18 【68ページ】 (1)単位互換制度の概要 1)履修要件等	履修要件の変更	①教養教育科目 対象年次 1～3年次生 対象科目「大学コンソーシアム京都」及び「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」の単位互換科目のうち、瀬田学舎教養教育科目会議にて、学則に定める教養教育科目のいずれかと読み替えて認定することが可能と判断された科目。 単位認定 各年次において、教養教育科目と専攻科目を合わせて4単位(3年で12単位)を上限として認定する。 その他 履修登録制限外とする。  ②専攻科目 対象年次 1～3年次生 対象科目「大学コンソーシアム京都」及び「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」の単位互換科目のうち、瀬田学舎教養教育科目会議にて、学則に定める教養教育科目のいずれかと読み替えて認定することが可能と判断された科目。 単位認定 各年次において、教養教育科目と専攻科目を合わせて4単位(3年で12単位)を上限として認定する。 その他 履修登録制限外とする。	専攻科目 対象年次 1～3年次生 対象科目「大学コンソーシアム京都」及び「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」の単位互換科目のうち、農学部教授会にて、学則に定める専攻科目のいずれかと読み替えて認定することが可能と判断された科目。 単位認定 各年次において、4単位(3年で12単位)を上限として認定する。 その他 履修登録制限外とする。	2016年3月
19 【72ページ】 履修要件等	認定単位数の変更 単位認定	認定単位数:1プログラム3単位 単位認定:「農学部インターンシップA」および「農学部インターンシップB」として認定します。	認定単位数:1プログラム <b>最大3単位として認められる場合があります。</b> 単位認定: <b>内容に応じて</b> 「農学部インターンシップA」および「農学部インターンシップB」として認定します。	2016年3月
20 【73ページ】	認定単位数の変更 単位認定	認定単位数:1プログラム3単位 単位認定:「農学部インターンシップA」および「農学部インターンシップB」として認定します。	認定単位数:1プログラム <b>最大3単位として認められる場合があります。</b> 単位認定: <b>内容に応じて</b> 「農学部インターンシップA」および「農学部インターンシップB」として認定します。	2016年3月
21 【75ページ】 4.「ライティングセンター」について	場所の変更	◆場所 1号館 セルフラーニングルーム  ◆開室日時 月・水・金 11:30～16:00(授業実施期間中) (※なお、ライティングセンターは2015年度9月頃に智光館(ラーニングcommons)へ移設します)	◆場所 <b>智光館 ラーニングcommons</b>  ◆開室日時 <b>月・水・金 11:30～16:00(授業実施期間中)</b>	2016年3月
23 【86ページ】 2.届出書・願書及び各種証明書 復学願の添付書類	添付書類の変更	理由書	<b>疾病の場合は回復診断書</b>	2016年3月
24 【87ページ】 各種証明書の交付申請	手数料の変更	(3)各種証明書の交付申請	※別紙「窓口事務PDF」参照	2017年3月

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
25 【88ページ】 学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)の発行	交付枚数の変更	交付枚数は原則として年度毎に10枚、1回の交付枚数は1週間に2枚以内です。 ※年間10枚を超えて必要な場合は、農学部教務課窓口で相談してください。	交付枚数は原則として年度毎に20枚、1回の交付枚数は1週間に2枚以内です。 ※年間20枚を超えて必要な場合は、農学部教務課窓口で相談してください。	2016年3月
26 【91ページ】 II 授業休止の取扱基準			2016年4月1日から新たな基準を制定しました。詳細は、本学ホームページを参照してください。 <a href="http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/support/classinfo/disaster.html">http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/support/classinfo/disaster.html</a>	2016年3月
27 【104ページ】 農学部教員名簿	教員名簿の変更		※別紙「農学部教員名簿」参照	2016年3月
28 表紙 裏	履修要項WEBサイトURLの変更	<a href="http://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/">http://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/</a>	<a href="https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/">https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/</a>  【変更事由】 Google Chromeをはじめとする各社のブラウザは、よりわかりやすいセキュリティ情報を配信するために、HTTPSのWebサイトを「安全」、HTTPのサイトを「危険」と表示するシステムを導入しました。これに伴い、本学もHTTPSでWebサイトを表示できるように対応しました。	2019年3月
29 【23ページ】 履修登録制限単位数 下から11行目	「成績優秀者の履修登録制限単位数に関する特別措置について」追記		■成績優秀者の履修登録制限単位数に関する特別措置について (※入学年度にかかわらず全ての在学生在が対象です) 成績優秀者(履修登録をおこなう学期の直前学期の累積GPAが3.5以上の者)については、農学部が定める所定の手続きをおこなった場合、履修登録制限単位数を各学期2単位(4年次は前期の履修登録時に4単位)拡大して登録ができます。 本特別措置の対象者には農学部教務課から申請方法等の詳細をお知らせしますので、特別措置を希望する場合は申請をしてください。	2020年3月



変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
			<p data-bbox="1144 165 1727 197"><b>3. オンライン授業について</b></p> <p data-bbox="1128 217 1727 256">本学では、対面にて授業を行う科目のほか、一部においてインターネット環境を利用してオンライン上で授業を行う科目があります。</p> <p data-bbox="1128 277 1279 293">(1) オンライン授業の形態</p> <p data-bbox="1128 296 1317 312">① オンライン授業の実施形態</p> <p data-bbox="1160 316 1547 331">本学では、次のようにオンライン授業の実施形態を区分しています。</p> <div data-bbox="1167 360 1727 472"><pre>graph LR; A[オンライン授業] --- B[ライブ授業]; A --- C[オンデマンド授業]; B --- D[同時双方向型]</pre></div> <p data-bbox="1128 496 1429 512">② オンライン授業と対面授業を組み合わせた形態</p> <p data-bbox="1160 515 1644 531">オンライン授業と対面授業を組み合わせた形態として、ハイブリッド授業があります。</p> <div data-bbox="1167 560 1525 671"><pre>graph LR; A[ハイブリッド授業] --- B[ハイフレックス型]; A --- C[ローテーション型]</pre></div>	

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
<p>31</p> <p>【21ページ】 3. オンライン授業について 下から8行目</p>	<p>オンライン授業の説明を追加</p>		<p>(2) オンライン授業の定義</p> <p>① オンライン授業        本学におけるオンライン授業とは、インターネットを介して、文字・音声・静止画・動画等の多様な情報を、当該授業を行う教室等以外の場所にいる学生に対して配信し、設問解答や意見交換などを実施することにより、学修を進めていくもので、標準的な1コマ（1回分）のすべてを上記のような方法を用いて行う授業を指します。        &lt;ライブ授業&gt;        上記オンライン授業の一形態としてライブ授業があります。ライブ授業とは、オンライン授業のうち、同時かつ双方向（教員と学生）で授業を行うものを指します。ライブ授業を詳細に分類すると「同時双方向型」と「同時一方向」に分かれますが、本学においては、双方向性が確保できる「同時双方向型」を指します。        &lt;オンデマンド授業&gt;        上記オンライン授業の一形態としてオンデマンド授業があります。オンデマンド授業とは、オンライン授業のうち、予め収録した授業（動画・音声）や音声付PowerPoint動画等を配信し、あわせて課題指示等を行うものを指します。</p> <p>② ハイブリッド授業        オンライン授業と対面授業を組み合わせた授業形態としてハイブリッド授業があります。ハイブリッド授業には、2つの形態（ハイフレックス型、ローテーション型）があります。        &lt;ハイフレックス型&gt;        対面授業をライブ配信することにより、オンラインとしても行う授業のことを指します。        (例) 対面希望の学生とオンライン希望の学生を2グループに分けて実施する授業。        &lt;ローテーション型&gt;        全開講回数のうち、各回によって対面とオンラインを使い分ける授業のことを指します。        (例) 全15回のうち、4回目～11回目をオンラインで実施し、その他は対面で実施する授業。</p> <p>(3) オンライン授業科目</p> <p>① オンライン授業科目とは        オンライン授業として実施する科目のうち、オンラインでの授業回数など一定の要件を満たした科目は開講学部等において「オンライン授業科目」として位置づけています。</p> <p>② オンライン授業科目の履修要件        オンライン授業科目は、60単位を上限に卒業要件単位数として単位認定されます。60単位を超えて修得したオンライン授業科目は随意科目（卒業要件単位数には含まない）として単位認定されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;龍谷大学学期&gt;（抜粋）          第25条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。          2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。          3 第34条の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち、前項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。</p> </div> <p>※新型コロナウイルス感染症に対応した特例        新型コロナウイルス感染症の影響により対面での授業実施が困難（一部のみの対面での授業実施を含む）と大学が判断した場合のオンライン授業科目は、卒業要件単位となる単位数の上限（60単位）に含みません。</p> <p>(4) オンライン授業を受講するにあたって        オンライン授業は、以下の情報環境を準備した上で受講してください。        ① 自身所有のノートパソコン等を利用する</p>	<p>2022年4月</p>



変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
			<p>農学部では、学生の情報処理・活用スキルの向上をめざして、パソコンを利用する授業を多く実施しています。また、授業時間内外の様々な場面でパソコンを活用することが必要となることから、携行が容易なノートパソコン等のデバイスを所有することとしています。</p> <p>ノートパソコン等の仕様については、以下のウェブサイトを確認し準備してください。</p> <p>・農学部ノートPC等の必携化 <a href="https://www.agr.ryukoku.ac.jp/about/byod.html">https://www.agr.ryukoku.ac.jp/about/byod.html</a></p> <p>※必要なスペックを満たすノートパソコン等をすでに所有している場合は新たに用意する必要はありません。</p> <p>※本学ではMicrosoft社との包括ライセンス契約により、在学中は無料でOfficeソフト（Word, Excel, PowerPointなど）が利用可能です。Office付属のノートパソコンやOfficeのライセンスを用意いただく必要はありません。</p> <p>② キャンパス内の施設・機器を利用する            キャンパス内の施設や機器を利用し、オンライン授業を受講することができます。</p> <p>○スチューデントコモンズでノートパソコンの貸し出しを受ける。【学内利用に限る】            深草キャンパス：和顔館1階スチューデントコモンズ（ラーニングサポートデスク）            大宮キャンパス：東翼2階スチューデントコモンズ（PC貸出カウンター）            瀬田キャンパス：智光館地下1階階情報メディアセンター</p> <p>○セルフラーニング室のパソコンを利用する。            深草キャンパス：5号館3階            大宮キャンパス：清風館1階            瀬田キャンパス：3号館地下1階</p> <p>(5) オンライン授業科目の確認方法            オンライン授業科目はポータルサイト（履修登録画面）及び龍谷大学履修要項WEBサイトにて確認することができます。</p> <p>・本学履修要項WEBサイト            (URL) <a href="https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/rishu.html">https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/rishu.html</a></p>	
32 【30ページ】 11 追試験 下から18行目	交通遅延証明書としてWEB発行証明書を可とする旨の変更	<p>追試験受験希望者は、追試験受験願および欠席理由証明書(医師診断書、交通遅延証明書または事故理由書、就職試験等による場合は会社あるいは団体が発行する証明書等)をその科目の試験日を含めて4日以内(土・日・祝日は含めない。ただし、土曜日が試験日の場合は試験当日を含む4日以内)に農学部教務課窓口へ提出しなければなりません。</p> <p><u>交通遅延証明書のうち、Web発行によるものは本人が乗車したことを証明するものではありません。</u></p> <p><u>ので、欠席理由の証明書として、本学では取り扱いできません。</u></p> <p><u>交通遅延証明書は「本人が乗降した際に各駅にて受け取ることができるもの」のみを証明書として取り扱います。</u></p>	<p>追試験受験希望者は、追試験受験願および欠席理由証明書(医師診断書、交通遅延証明書(WEB発行の証明書可)または事故理由書、就職試験等による場合は会社あるいは団体が発行する証明書等)をその科目の試験日を含めて4日以内(土・日・祝日は含めない。ただし、土曜日が試験日の場合は試験当日を含む4日以内)に農学部教務課窓口へ提出しなければなりません。</p>	2022年4月